

平成18年4月3日

担当:松本

建築設計製図 (第1課題)**「ニューリッチのための都市型多世代2家族集合住宅」****趣旨**

一億中流化という言葉が遠い昔のものであるかのように、いつのまにか日本は先進諸国の中でアメリカに次ぐ所得格差の多い国になってしまった。フリーターやニートと呼ばれる低所得の若者が増加した一方で、情報や金融を扱って成功したニューリッチと呼ばれる階層が出現し、短期間に莫大な利益を得ている。

一方、これまで郊外に広がり多くのスプロール地域を生み出してきた日本の住宅は、1990年代の地価の下落とともに影をひそめ、都心への住宅の回帰が始まっている。日本は豊になったといっても、第二次世界大戦以後の小規模住宅の大量供給という社会構造が未だに尾を引いており、欧米諸国はおろか、中国、韓国などの東アジア諸国の住宅の規模や質に遠くおよばない小さな住宅が造られ続けている。2005年より、人口の減少を迎え窮屈にひしめきあって暮らしてきた人々も、ようやくゆとりのある空間をうることが可能になってきている。

そこで本課題では、このニューリッチ層の勃興が牽引役となって、日本の住宅が広さと質の両面において豊かになることを期待して、これまでにない理想的な近未来の住宅像を模索することを目的とする。

設計条件

敷地面積：約 1,500 m² (名工大周辺に土地を設定)

住宅規模：2家族の三世代の超富裕家族

(各戸の家族構成はパラエティーに富むよう設定のこと)

延床面積：各家族300 m²前後の規模としトータル650 m²以内とする。これに2戸の共通スペース(エントランス、ロビー、管理人室、階段、エレベータなど必要なもの)を加える。

建物構造：2～5階建て、主として鉄筋コンクリート

駐車場：各戸分少なくとも3台以上ずつトータルで8台は敷地内に駐車できること。必要と思われる台数分は車庫とすること。

住宅のセキュリティを十分考慮すること。

要求図面等

設計コンセプト(概念図でも可)(家族状況を含む)

敷地図(建物は小屋伏せ図とし敷地造園を含めて設計。敷地周辺との関係がわかるようにする)

S=1/200

各階平面図 S=1/100

環境立面図(道路側から見えるすべての面) S=1/100

断面図2面以上 S=1/100

敷地周辺を含む模型(S=1/100程度の大きさ)とその写真(図面に張り込む)

その他必要と考えられるもの

*各図面には図面番号、学籍番号、氏名を必ず記入のこと。用紙はA1ケント紙もしくはそれに相当する厚さの用紙を使用のこと。

日程

4月 3日(月)課題出題(13:30～)

4月10日(月)各自敷地選定・提出(12:00)個別チェック(13:00～)

4月13日(木)周辺付き敷地模型とコンセプト・ゾーニング計画を提出(12:00)個別チェック(13:00～)

4月24日(月)各階平面図を中間提出(12:00)個別チェック(13:00～)

5月 1日(月)各階平面図を中間提出(12:00)個別チェック(13:00～)

5月 8日(月)環境立面図、立面図、断面図を提出(12:00)個別チェック(13:00～)

5月15日(月)成果物を全て提出(12:00)個別チェック(13:00～)

5月18日(木)課題提出(13:00)清掃(13:00～14:30)

5月22日(月)プレゼンテーション・講評会(13:00～)